

2019

南三陸
みんなのきりこ
プロジェクト

特別企画

みんなのきりこ メリーゴーラウンド

8.8(木)・9(金)・10(土)・11(日)

参加無料

10:00-15:00

荒島パーク

(サンオーレそではま海水浴場となり)

おとなが乗っていても
小学生のきみにだって
自転車をこげば動かせます。

大切な人を乗せて
自分の力でまわせます。

屋根のかがりは
南三陸にちなんだものに
なる予定です！
もちろん「みんなのきりこ」
もかがります！

メリーゴーラウンドのイメージです♡

家族みんなで、
友だち同士で、
遊びに来てね！

このおけに乗ると
くるくる回れるよ！

アーティスト
KOSUGE1-16
車田智志乃さん・土谷享さん

この自転車をこくと
回り出す！

みんなを乗せて、まわれ！まわれ！
自転車でまわそう！海辺のメリーゴーラウンド

こいで楽しい、乗って楽しい、
移動式のスローな
メリーゴーラウンドだよ！

大雨や強風の日はお休み。

帽子や飲み物、お弁当を持って来てね。
日除けの休憩テントあり。

1回約2分。
乗る方も、こく方も、
両方楽しんでね。

みんなでこいで
みんなでまわる！
世界でたったひとつの
メリーゴーラウンドが
この夏、南三陸にやってくる！
もちろんおとなも乗れるよ！

アーティストの
KOSUGE1-16
が考え出した
自転車動力の
木製メリーゴーラウンド。

南三陸の子どもたち
恋人たち

そして

おじいちゃん、おばあちゃん

おとうさんもおかあさんも

みんないっしょに

荒島パークに

遊びに来てください！

■お問い合わせ先 e-mail envisi@da-ha.jp

期間中、荒島パークまでは専用無料送迎バスをご利用ください。

このバスにスタッフは同乗しません。定員は先着 27 名です。

■歌津方面から沼田経由

9:00 名足小学校前
9:10 柘沢ファミリーマート前
9:20 ハマーレ歌津駐車場
9:40 結の里
:
9:45 荒島パーク着

■戸倉方面から

10:05 戸倉小学校前
10:15 理容キング前
:
10:30 荒島パーク着

■入谷方面から生涯学習センター経由

11:00 入谷・中の町バス停
11:15 生涯学習センター前
:
11:20 荒島パーク着

■沼田経由歌津方面へ

12:00 荒島パーク
:
12:05 結の里
12:25 ハマーレ歌津駐車場
12:35 柘沢ファミリーマート前
12:45 名足小学校前

■戸倉地区方面へ

13:15 荒島パーク
:
13:25 理容キング前
13:35 戸倉小学校前

■生涯学習センター経由入谷方面へ

14:00 荒島パーク
14:05 生涯学習センター前
:
14:20 入谷・中の町バス停

お車の方は

サンオーレそではまの駐車場をご利用ください。

荒島パーク

サンオーレそではまの隣りの芝生の公園です。



アーティスト紹介 <KOSUGE1-16 プロフィール>

KOSUGE1-16 は 2001 年から活動する車田智志乃、土谷享の二人組のアーティストユニット。日常のありふれた環境や、現象、人のつながりから作品を生み出している。作品を仲立ちにして、鑑賞者が参加者になり、参加者同士、あるいは作品と参加者の間に「もちつもたれつ」という関係性を創り出す。身近な場所で、アートが生活を豊かにするという実感を、多くの人たちと共有している。宮城県内でもさまざまな活動を行っており、仙台市で行った「どんどこ！巨大紙相撲」は教育関係者に引き継がれている。また、昨年度まで3年にわたり、仙台で児童文化を生み出した天江富弥とススキヘキにまつわるプロジェクトを行った。2019 年夏、瀬戸内芸術祭参加。また、青森県八戸市で八戸三社大祭に関わる山車組の活動をテーマにプロジェクト DASHIJIN を展開中。

2019
プロジェクト
南三陸
みんなのきりこ

展示期間

7/25 (木)~9/8 (日)

展示場所

- 南三陸町役場本庁舎マチドマ
- 南三陸町役場歌津総合支所マチドマ
- 南三陸さんさん商店街
- 南三陸ハマーレ歌津
- 町内各事業所など

南三陸の
みんなの歴史や記憶を
秘めた白い切り紙は
この町で生きる
ひとりひとりの物語の
語り部です。
店内に飾ってあるお店も
あります。
「みんなのきりこマップ」を
片手に、切り紙をご覧ください。



2010 年の活動の記録から

「南三陸人の物語を宿す」
「みんなのきりこ」

この切り紙のプロジェクトは、2010 年、街の人たちとふれあいながらみんなが楽しめる街をつくろうと始まりました。歴史と思い出を宿した街並みは失われましたが、2010 年にみなさんからお聞きしたそれぞれの家や店のエピソードやその後の物語は、この切り紙の中に生きています。震災後も毎年、その家々の人を思いながら、一枚一枚、長い時間をかけて毎年つくり続けて来ました。今年は岡山で西日本豪雨の被害にあわれた方々や仙台のバレエ教室のみなさん、町を訪れたボランティアや三陸沿岸の方たちも切り紙づくりに参加してくれました。この切り紙が展示される期間、「みんなのきりこ」を通してお互いの歴史を確かめ合い、先人たちのエピソードや思い出を語り合っていたきたいと願っています。